

AES V8.8 簡易インストールマニュアル



Table of Contents

I.	AES V8.8 簡易インストールマニュアル	3
	AES V8.8 のインストールを始める前に	3
	AES V8.8 インストールの手順	4
II.	ライセンス認証設定(ネットワークライセンス)	.10

About AspenTech

AspenTech is a leading supplier of software that optimizes process manufacturing—for energy, chemicals, engineering and construction, and other industries that manufacture and produce products from a chemical process. With integrated aspenONE® solutions, process manufacturers can implement best practices for optimizing their engineering, manufacturing, and supply chain operations. As a result, AspenTech customers are better able to increase capacity, improve margins, reduce costs, and become more energy efficient. To see how the world's leading process manufacturers rely on AspenTech to achieve their operational excellence goals, visit www.aspentech.com.



I. AES V8.8 簡易インストールマニュアル

AES V8.8 のインストールを始める前に

インストールに際しての注意事項

- <u>外付けハードディスク/USB メモリからのインストールは行わないでください。</u> (DVD ドライブが使用できない場合は、DVD をローカルハードディスクにコピーしていただくか、ネットワークドライブからインストールを行ってください)
- インストール時には外付けドライブ(ハードディスク、USBメモリ等)は外してください。
- 初めて AES 製品をインストールする場合、インストール先(ドライブ)を選択することができますが、特段の事由がない限り、デフォルト設定(C:\Program Files (x86)) にインストールするようにしてください。デフォルト以外のフォルダを指定された場合に、一部機能がお使いいただけないなどのトラブルがいくつか報告されています。
- Log in アカウントについて 製品のインストールには <u>インストールを行うパソコンに対して Administrator の権限が必要で</u> <u>す</u>。Administrator の権限をもつ User 名で Log in した後 作業を行ってください。 また、インストール直後の再起動時も Administrator の権限を持つ User 名で Login してください。
- ウイルス対策プログラムについて インストールは、ファイルの読み込み、ファイルの書き込み、レジストリー書き込み等の一連の 作業から成り立ちます。ウイルス対策プログラムはこれらの個々の操作に対して影響する場合 があります。できるだけ ウイルス対策プログラムを終了した状態でインストール作業を行って ください。
- インストールする製品によっては、別途他のソフトウェア (Intel Fortran、Visual Studio Compiler など) のインストールが必要となります。詳細は Installation Guide をご参照ください。
- Aspen OnLine は英語 OS のみの対応、それ以外の製品は日本語 OS に対応しています。
- ライセンス取得の形態がネットワーク方式の場合、AES V8.8 の製品をインストールすると、バージョン 7.x のライセンスサーバー (SLM) からはライセンスが取れなくなります。製品をインストールする前にサーバーのバージョンが 8.x 以上であることをご確認ください。

SLM のバージョンは SLM のインストールフォルダーでご確認いただけます。

SLM 7.x (aspenONE 2006 以前の DVD からインストールされたもの):

C:\Program Files\Rainbow Technologies\SentinelLM 7.2.0.1 Server\English

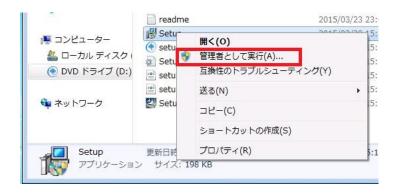
SLM 8.x (aspenONE 2006.5 以降の DVD からインストールされたもの):

C:\Program Files\Common Files\SafeNet Sentinel\Sentinel RMS License Manager\WinNT

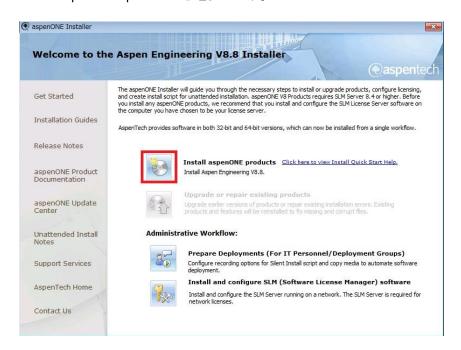


AES V8.8 インストールの手順

Aspen Engineering DVD を DVD ドライブに入れ、setup.exe を右クリックして「管理者として実行」を選択してください。



Install aspenONE products を選択します。



以前のバージョンの製品がインストールされている場合、下記のアップグレードインストールの確認画 面が表示されます。

以前のバージョンを残したい場合は"いいえ"を、残さない場合は"はい"を選択します。 Aspen Basic Engineering 以外の製品につきましては同一 PC 内に複数バージョンの共存が可能です。

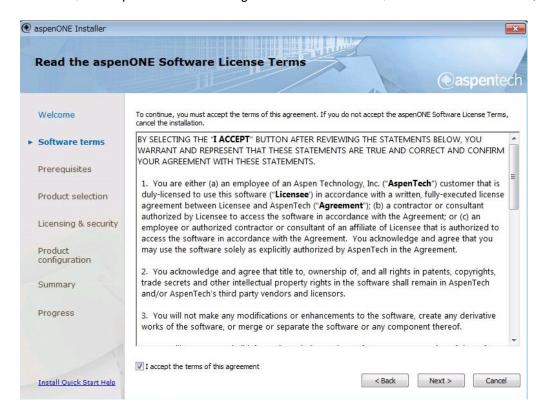
Aspen Basic Engineering がインストールされている場合以外は "いいえ" をクリックしてください。





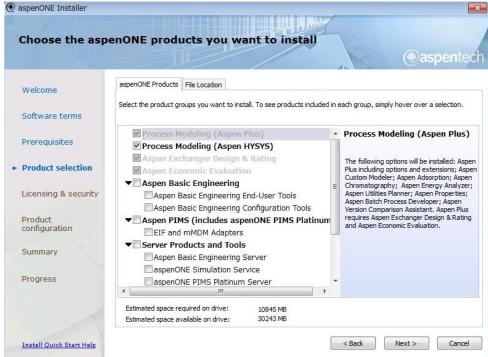
Software License Terms 画面が表示されます。

一読の上、I accept the terms of the agreement にチェックし、Next をクリックします。



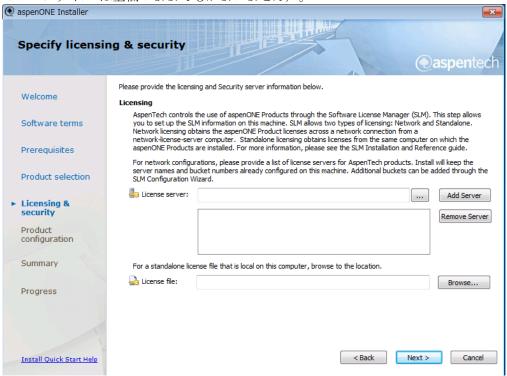


インストールする製品を選択して、Nextをクリックします。



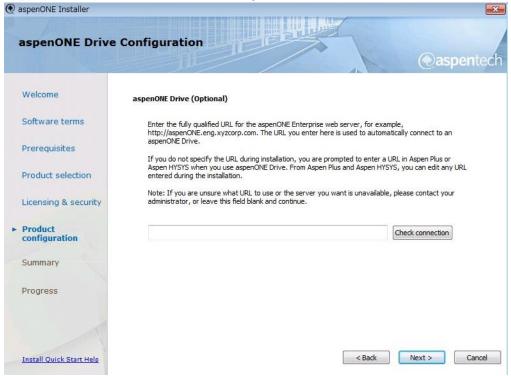
Licensing & security 画面が表示されます。

ライセンスサーバー または ライセンスファイルを指定し Next をクリック (ライセンスサーバー / ライセンスファイル は空欄のままでもかまいません)。

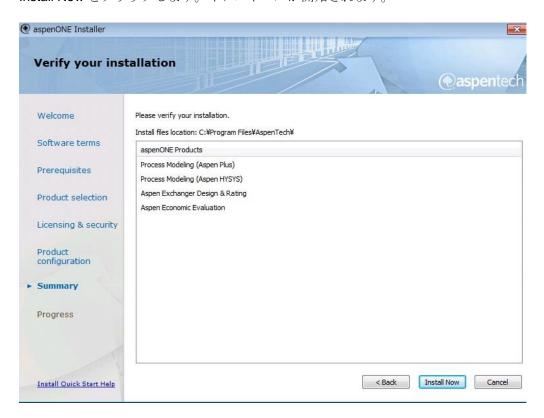




空欄のまま Next をクリックしてください。

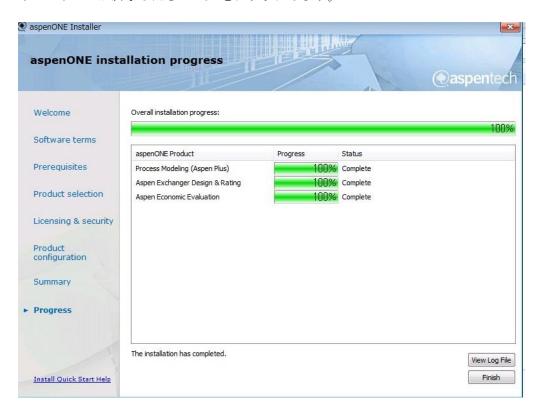


Install Now をクリックします。インストールが開始されます。



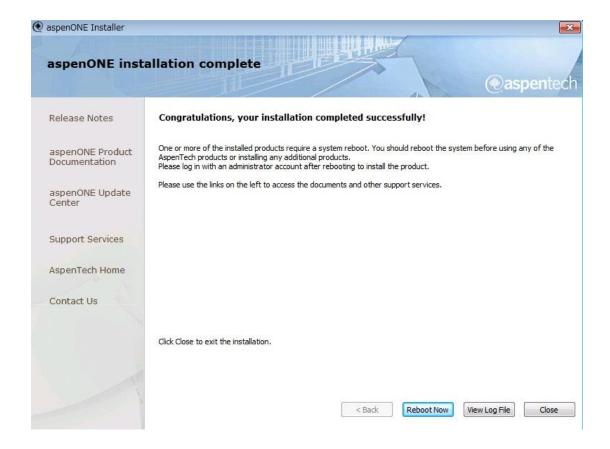


インストールが終了したら Finish をクリックします。





インストール終了後、Complete 画面に再起動を促すメッセージが表示された場合は、"Reboot Now" ボタンをクリックして再起動を行ってください。なお、再起動直後の Login では 必ず Administrator の権限をもつアカウントで一度 Login してください。





II.ライセンス認証設定(ネットワークライセンス)

ライセンス契約の形式には、ネットワークライセンスとスタンドアローンライセンスの**2**種類があります。ここではネットワークライセンス方式のセットアップについて説明いたします。

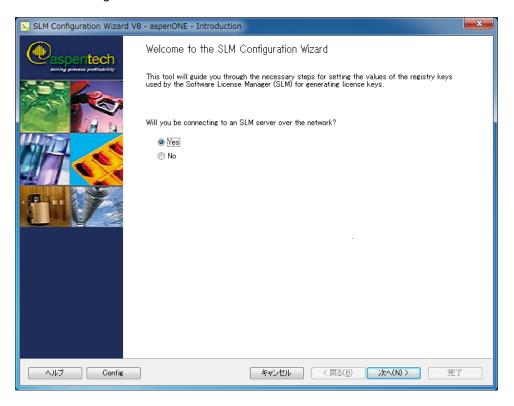
(スタンドアローンライセンスの設定につきましては、技術情報"スタンドアローンライセンスのセットアップ方法"をご覧ください。)

ライセンス取得方法を設定します。 (Administrator の権限が必要です。)

スタートボタンから、すべてのプログラム-AspenTech-AspenSLM-AspenOne SLM License Manager を呼び出します。



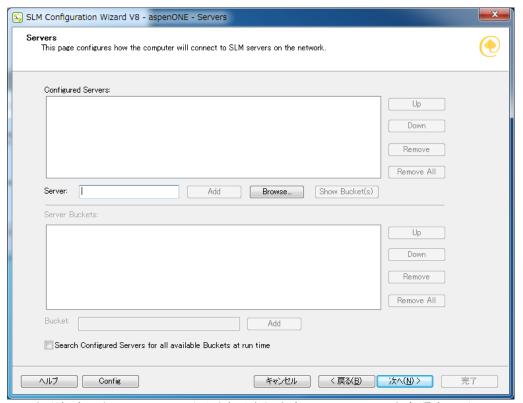
一番左の Configure をクリックしてください。



License を License Server から取るかどうか指定します。今回はネットワークライセンス方式のセットアップですので、**Yes** を選択します(License Server と製品を使う PC が同一の場合も Yes です)。

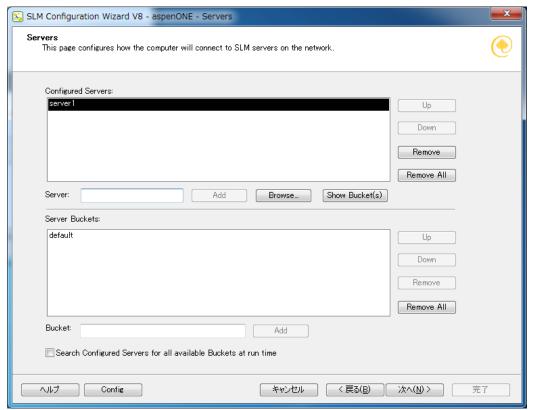
次へ(N) > を押して次の画面へ進んでください。





Yes を選択すると Server List 画面が表示されますので、License を参照するパソコンの名前または IP アドレスを Server フィールドに入力して Add ボタンを押します。 Add された Server は Configured Servers の List に表示されます。 List された上から順に License を検索します。





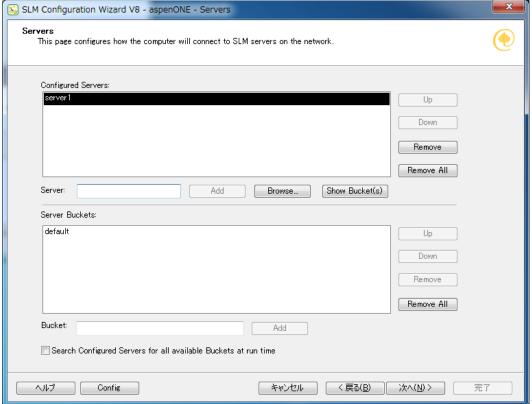
Bucket 番号を追加するには、Configured Servers の List でサーバーが選択された (サーバー名がハイライトされた) 状態で Bucket フィールドに番号を入力し、Add ボタンをクリックしてください(画面下の Server Buckets の List に追加されます)。

List された順がライセンス取得の優先順位となります(Up ボタン、Down ボタンを利用して優先順位を変更することができます)。また、使用するライセンスを制限したい場合は、List から使用しないBucket 番号を削除してください(List から番号を選択し Remove Bucket ボタンをクリックしてください)。

なお、Bucket 番号については、本章末の「<参考>Bucket 番号について」をご参照ください。

<u>次へ(Ŋ) 〉</u> を押して Configure Advanced Settings 画面まで進みます。



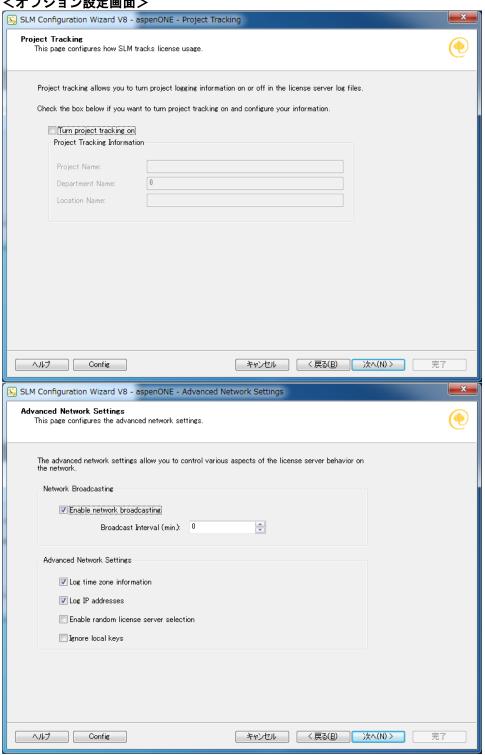


オプションの設

オプションの設定を行なわない場合は No を選択して をクリックし、 完了 ボタンを押してライセンスの設定を終了します。

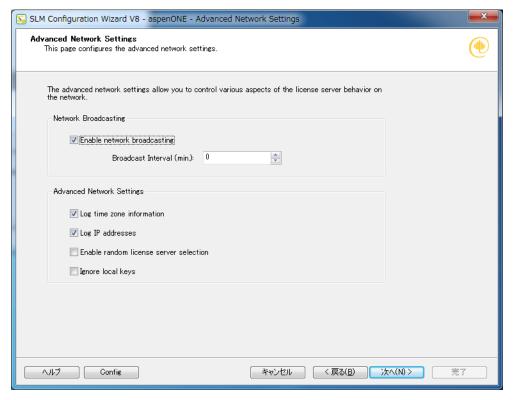


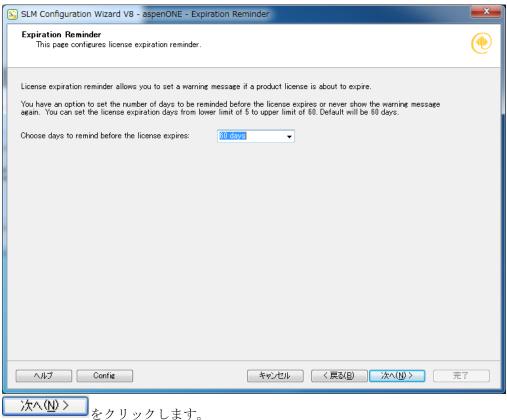
<オプション設定画面>



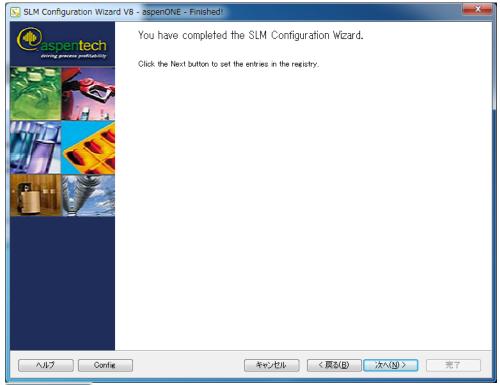
Ignore Local Key のチェックでそのパソコン上の Key 検索をとめることができます。USB ポートに何か ディバイスがついている場合 SLM Dongle が付いていないかどうか検索しに行きます。 Ignore Local Key をチェックすることによりこの検索を避けることができます。



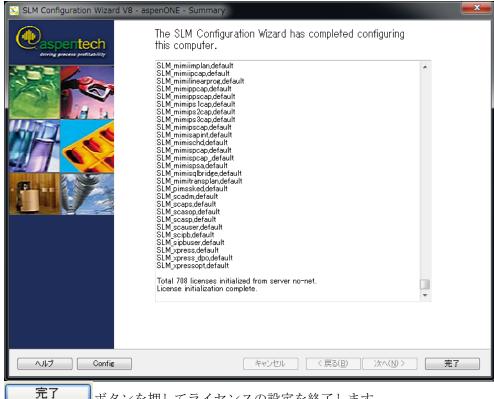








次へ(N) > をクリックします。



ボタンを押してライセンスの設定を終了します。

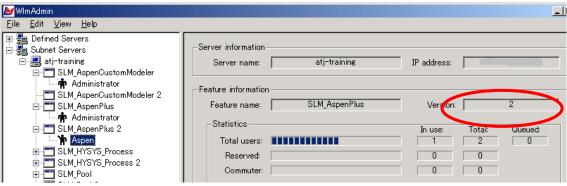


<参考>Bucket 番号について

ライセンスサーバー上に使用可能なライセンスが複数存在する場合、この画面で Bucket 番号を指定することにより、各ユーザーが使用するライセンスの優先順位をコントロールしたり、使用するライセンスを制限したりすることができます。

例えば同一サーバー上に Standard の Aspen Plus と Bundle に含まれる Aspen Plus の 2 種類が存在する場合、サーバー上では Aspen Plus と Aspen Plus 2 のようにバージョン番号を分けて区別される場合があります。この画面で Bucket 番号を指定することにより "Standard を優先する"、"Bundle しか使用できないように制限する"といったことができます。

Bucket 番号は、WLM Admin Tool で Version 番号として確認できます。



ユーザー登録について

インストール後、aspenONE 製品を起動すると以下のユーザー登録画面が表示されます。この画面は、各ログインアカウント毎に表示されます。

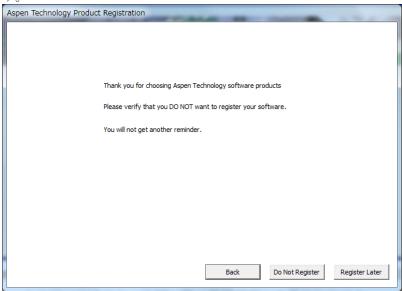




ユーザー登録を希望する場合は Next>>をクリックしてください(推奨)。 登録を行っていただくと以下のような利点があります。

- Service Pack や Hot Fix についてお知らせします。
- 製品ニュースやリリース情報をご覧になれます。
- Knowledge Base (解法のテクニック、ドキュメント、例題、既知の問題点) がご覧になれます。 大学関係者で ASPENTECH へのコンタクトを主に担当される方は Next>>ボタンをクリックし、ユーザー登録してください。その他の方は Academic User をクリックしてください。

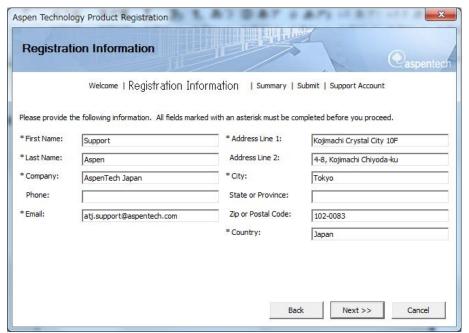
登録を行いたくない場合は Cancel をクリックします。 Cancel を選択した場合、次の画面が表示されます。



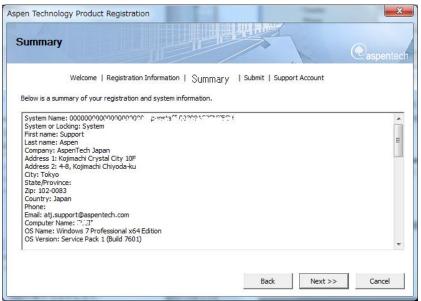
Register Later をクリックすると、次回 AspenTech 製品を起動したときに登録画面が表示されます。 Do Not Register をクリックすると、次回以降は登録画面が表示されません。

Next>>をクリックしてください。



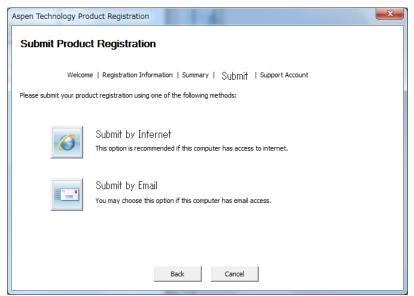


<u>- 必要な情報を入力の上、Next>>を</u>クリックしてください(*がついている項目は必須です)。



入力された項目の確認画面が表示されますので、内容をご確認の上、Next>>をクリックしてください。 (内容を修正される場合は Back で前の画面に戻ってください)





以下のいずれかをクリックし登録を完了してください。

- Submit by Internet:インターネットに接続されている PC の場合(推奨)
- Submit by email from this machine: すぐに E-mail で送る場合